

研究者情報

フリガナ 氏名	エンニュー ダイジ 遠入 大二	職名/学位	准教授/修士(理)
所属 学科	流通情報工学科	所属学会	日本物理学会
専門 分野	・物理(素粒子) ・コンピュータ科学	利用可能な 設備等	特になし

研究テーマ

- ・行列模型
- ・量子力学基礎原理

行列模型の確率過程量子化、ほか

- ・京都大学の河合光さんたちの提案したタイプ II Bと呼ばれる超弦理論の作用(アクション)を確率過程量子化で極限操作したものです。当時島根大学にいた中澤さんたちとの共同研究で、何本か論文になっています。
- ・「理数系科目における考える技術について」高専教育33号(2010)という論文で、学生が社会にでて必要とされるロジカルシンキングとはどういうものか、またそれを高専の教育に取り入れるにはどうするかということについてまとめました。

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

- ・タイプ II B行列模型のボゾニック部分に確率過程量子化を行ない、ウィルソンループについての場の理論を構成した。これに対するランジュバン方程式は閉弦についての時間発展方程式と解釈することができた。
- ・Kostovのモデルに確率過程量子化法を適用した。このモデルでは、ある領域で複素積分を行って物理量を計算しなければならないが、我々の方法は見通しがよく、その結果として、彼の見落としていた3つめのシュビンガー-ダイソン方程式を導くことが出来た。

提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	可	可